

総事業費	3,611 千円
交付金額	1,805 千円

## 地域の実情と課題

- 地域の若者の県外転出  
三八地域は、高校卒業時点において、就職や進学により約5割の人財が県外へ流出している。
- 地域働く女性従業員の割合  
県内で製造業に勤務する従業員が最も多いものの、女性従業員の割合は36.2%で6地域内で最も低い。
- 女子目線での地域の「仕事」と「暮らし」の魅力を発信し共有する取組が不十分

## 事業の特徴

- 地域の生徒・学生が、地域の企業で働く人と関わりながら「仕事」や「暮らし」を調べることで、三八地域で暮らしていくことの魅力に気づき、理解も深まること。  
また、地域の女子高生及び女子大生が調査・発信することで、同世代から共感を得やすい地域で働き暮らしていく魅力の整理と発信が行われること。

## 事業の効果

地域で育った若者の地域への愛着や将来三八地域で暮らしたいという意識醸成が図られた。(令和4年度事業に参加した生徒のうち地域就職のメリットを理解できたと回答した割合 100%)

## 目的・目標

若者・女性の青森県三八地域への定着・活躍の促進を目的に事業を実施した結果、3年間で延べ67人(目標値:延べ60名)の生徒・学生が魅力調査に参加し、魅力発信ツール(e-book)を作成し、継続した情報発信を実施することができた。

<参加生徒数>R2:28人、R3:15人、R4:24名

## 連携団体

【地域企業】延べ51社

【地域の高校・大学】延べ12校

<参加協力校>R2:2校、R3:4校、R4:6校

<地域企業>R2:20社、R3:15社、R4:16社

## 今後の課題

本県では人口流出、特に若年女性の流出が課題であることから、引き続き、地域関係者が連携し、地域で生まれ育った若者に将来は地元に戻ってきたいと思ってもらえるように、魅力的な仕事づくりや魅力的な暮らしを実現できる環境づくりを推進していくことが必要となる。

## 【女子目線を活用した三八地域若者・女性定着促進事業】

○若者・女性の青森県三八地域への定着・活躍を促進するため、地域に通学する女子高生及び女子大生により、地域の魅力調査隊を結成し、グループ毎に行う地域産業や地元暮らし等の調査、ワークショップを通じて、地元理解を促進させるとともに、女子目線を活用した地元就職の情報発信ツールを作成した。

○女子高校生が、女子目線で地域の魅力を調査した情報を同世代に向け発信した。



<魅力調査の様子>



<e-book PRリーフレット>